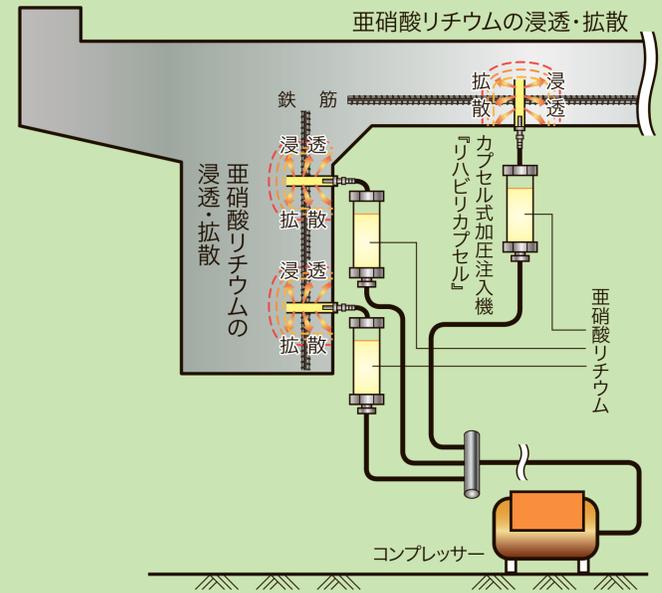


簡易型亜硝酸リチウム内部圧入工法 リハビリカプセル工法

NETIS : CG-120005-VR



工法概念図 (塩害・中性化の場合)



工法概要

工法概要コンクリート構造物に小径の削孔(φ10mm、L=100mm程度)を行い、そこからカプセルを用いて亜硝酸リチウムを加圧注入することで、コンクリート内部の鉄筋腐食を根本的に抑制する工法です。鉄筋腐食は確実に抑制されるため、以後の再劣化が生じることはありません。

期待される効果



浸透拡散型亜硝酸リチウムの外観

【鉄筋腐食の根本的抑制】

亜硝酸リチウム系含浸材に含まれる亜硝酸イオンにより、鉄筋の不動態皮膜が再生され腐食を根本的に抑制します。

【ASR膨張の根本的抑制】

亜硝酸リチウム系含浸材に含まれるリチウムイオンにより、アルカリシリカゲルが非膨張化され、ASR膨張を根本的に抑制します。

施行手順



①施工前



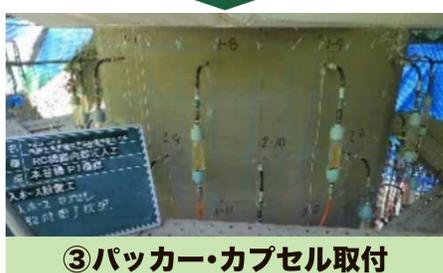
④圧入工



②圧入孔削孔



⑤圧入工充填工



③パッカー・カプセル取付



⑥施工完了

経過観察の実施



施工前 (2014年)

構造物：RC橋脚
劣化機構：塩害
(塩化物イオン濃度：
11.33kg/m³)



施行状況 (2015年)



施工後4年 (2019年)

施工後は、経過観察により再劣化が生じていないことを確認しています。